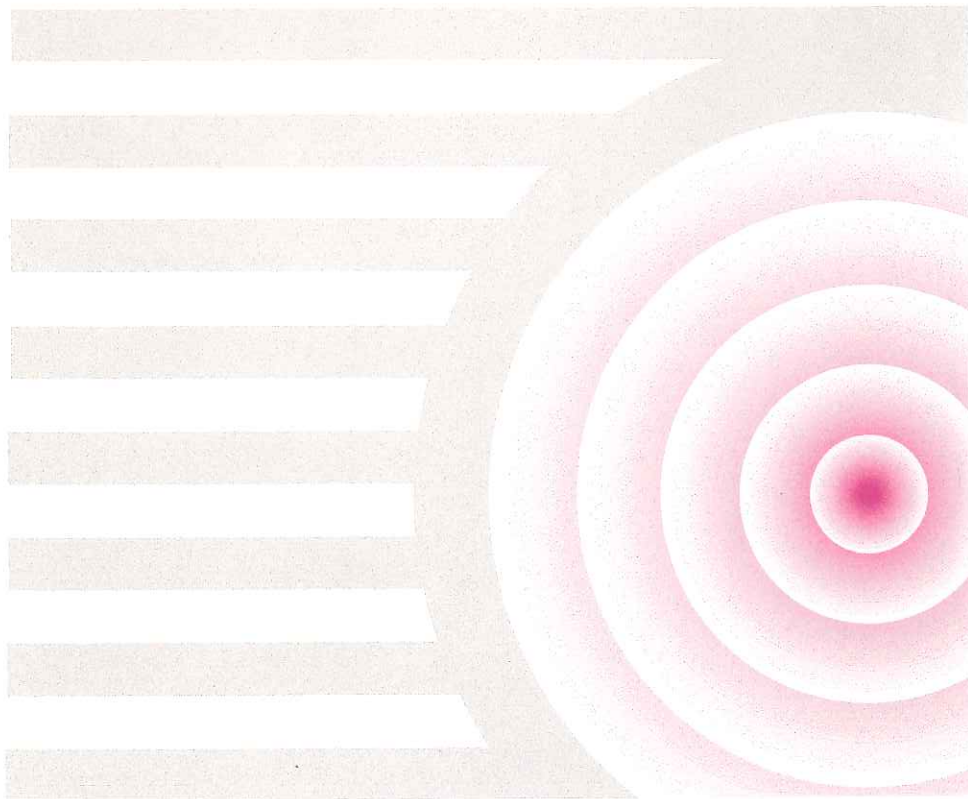


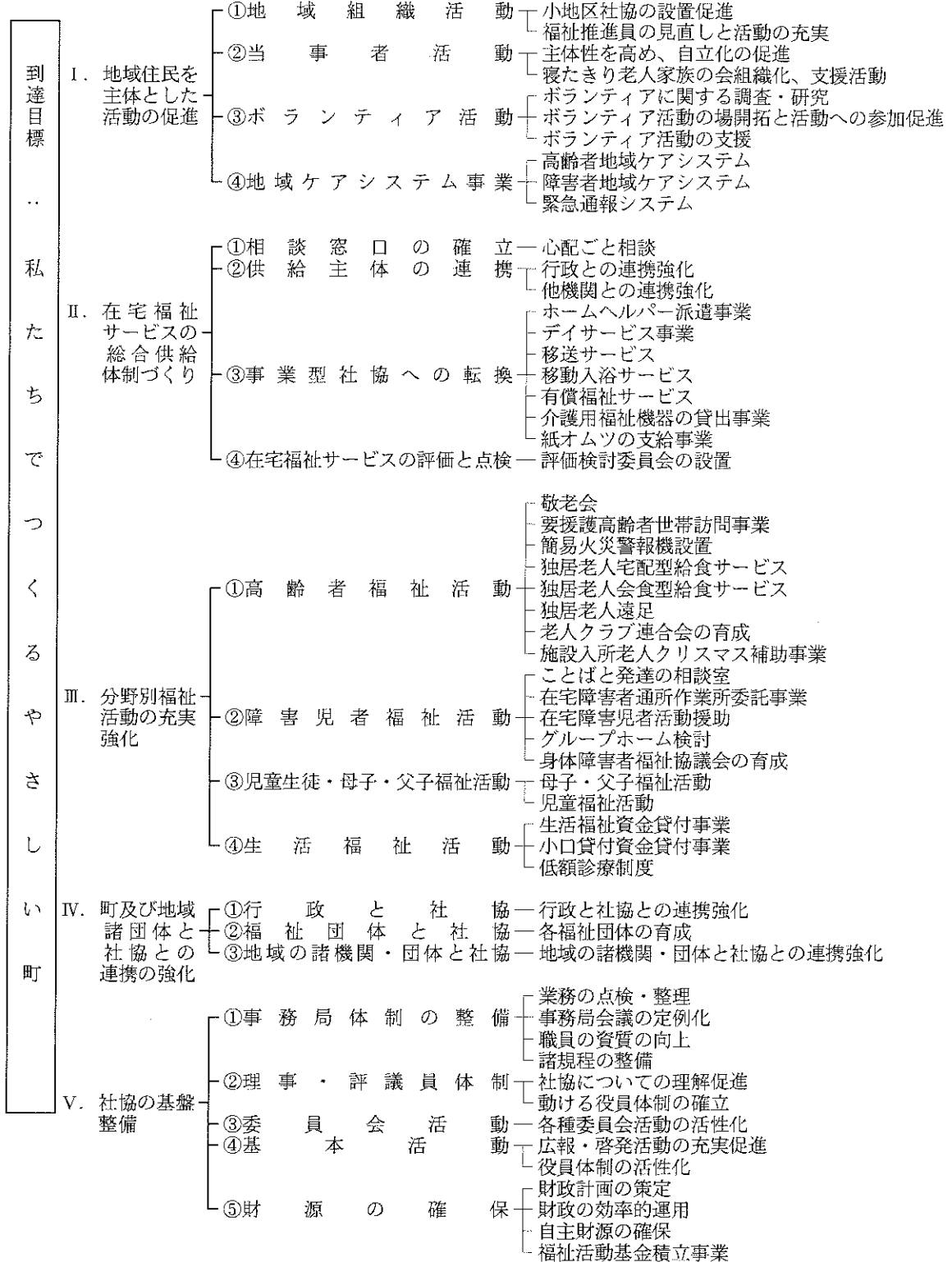
# 第 3 章 実 施 計 画



# 実施計画体系図

< 基本目標 >

< 実施項目 >



《地域住民を主体とした活動の促進》

実施計画 1-①, ②

基本計画（達成目標）	実施項目	実施内容
私 た ち で つ く る や さ し い ま ち	① 地域組織活動	小地区社協の設置促進
		福祉推進員の見直しと活動の充実
	② 当事者活動	当事者団体活動の主体性を高め自立化を促進する（福祉団体）

1年次	2年次	3年次	4年次	5年次	新 継	P 21	財源内訳
○ 財源の検討	○ 地区社協育成費見直し	○ 実施	○ 重点地区設定	○ 小地区社協設立準備会	新規	○	自主財源 1/4 町助成金 3/4
○ 要項の見直し整備					継見		
○ 就任依頼の説明			○ 再選		新規		自主財源 1/4
○ 内容検討	○ 作成		○ 事例集検討		新規		
○ 研修制度検討	○ 実施以後継続				新規		町助成金 3/4
○ 福祉ニーズ早期発見システムの検討	○ 実施				継見		
○ 運営問題検討	○ 必要に応じて以降開催			再調査	新規		
○ 総会開催 決定		○ 再選以後継続			新規		自主財源 1/4
○ 自立化を図る		○ 自主運営			新規		
○ 活動内容の周知	○ 以降継続				継見		町助成金 3/4
○ 情報収集	○ 先進事例視察	○ 関係機関への要望・実施			新規		
○ 団体長会議実施	○ 以降継続				継見		

《地域住民を主体とした活動の促進》

基本計画（達成目標）	実施項目	実施内容
私 た ち で つ く る や さ し い ま ち	② 当事者活動	<p>寝たきり老人家族の会組織化と支援活動の展開</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>☆在宅介護者懇談会の実施</li> <li>☆家族の会結成</li> <li>☆実態調査の実施</li> <li>☆福祉・医療・保健等の制度機関等の情報提供の強化</li> <li>☆介護講習会の実施</li> <li>☆協力ボランティアの発掘・育成</li> </ul>
	③ ボランティア活動	<p>ボランティアに関する調査研究</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>☆住民のボランティア意識調査</li> <li>☆ボランティアグループの実態調査</li> <li>☆ボランティアニーズ、要援護者ニーズの把握</li> <li>☆当事者団体・機関との懇談会、住民座談会の実施</li> <li>☆ボランティアニーズカード</li> </ul>
	ボランティア活動の場開拓と活動への参加促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>☆ボランティア活動への参加啓発</li> <li>入門講座の充実</li> <li>体験学習会の実施</li> </ul>

1年次	2年次	3年次	4年次	5年次	新 継	P 21	財源内訳
○ 家族の意向調査	○ 関係機関との調整実施				新規	◎	自主財源 1/4
	○ 呼び掛け結成	○ 会員拡充			新規		町助成金 3/4
○ 制度認知・利用状況調査	○ 以降必要に応じて実施				継見		
○ 情報の収集整理 広報紙・パンフの配布	○ 展示、紹介、斡旋	○ 常設展示・購入システム の検討	○ 行政への働きかけ	○ 対応システム実施	継見		自主財源 1/4
○ 関係機関への協力 呼び掛け	○ 実施				新規		町助成金 3/4
○ 広報紙協力呼び掛け 先進事例視察	○ 技術講習会実施				継見		
○ 調査結果検討			○ 再調査		継続		自主財源 1/4
○ 活動内容・運営状況調査	○ 毎年実施	○	○	○	継続		町助成金 3/4
○ 寝たきり	○ 一人暮らし	○ 心身障害者	○ 老夫婦世帯	○ 昼間独居	継続		
○ 呼び掛け実施	○ 以後継続				新規		
○ 見直し作成		○ OA管理			新規		
○ 見直し実施					継続		自主財源 1/4
○ インスタントシニア					継続		町助成金 3/4

基本計画（達成目標）	実施項目	実施内容
私 た ち で つ く る や さ し い ま ち	③ ボランティア活動	ボランティア活動の場の開拓と活動への参加促進  体験学習会の実施  ☆専門講座の充実  点 字  手 話  リーディング  ☆企業・労働組合の活動促進  ☆ボランティア集会の充実  ☆ボランティアマップの作成
	ボランティア活動の支援	☆高校生ボランティア連絡会  ☆需給調整の充実  ☆V活動センター運営委員会  ☆高校生OB・OGボラ組織化  ☆活動費の助成

1年次	2年次	3年次	4年次	5年次	新 継 P 21	財源内訳
○ アイマスク					継続	自主財源 1/4 町補助金 3/4
○ 車椅子					継続	
○ 施設体験・介護					新規	
○ 夜間講座の検討	○ 広域事業の模索				新規 ◎	
○ 対象者との交流	○ 中・上級講座の検討	○ 中・上級講座の開設			新規 ◎	
○ 窓口業務担当者の勧誘					継続 ◎	
○ 発表の場の確保					新規 ◎	
○ モデル企業の指定	○ 活動プログラム検討	○ モデル活動実施	○ 新モデル企業の指定		継充 ◎	
○ 第2回の定例化					継続	
○ ボランティア連絡と協議	○ マップ作成				新規 ○	
○ 呼び掛け 結成		○ 高校生V連の事業化 OBボラ協力			新規	自主財源 1/4 助成金 3/4
○ コーディネーターの専任化					継充 ◎	
○ V読本作成 Vセンター設置検討	○ Vニュース発行 行政・住民への働きかけ	○ 目標・Vセンター設置			継充 ◎	
○ 発起人会 OBボラ設立					新規	社協福祉 活動基金
○ 基金の確立強化及び行政の地域福祉基金との調整				○ 事業活動への助成 に切り替え	継充	

基本計画（達成目標）	実施項目	実施内容
私 た ち で つ く る や さ し い ま ち	④ 地域ケアシステム事業	(A) 高齢者ケアシステム (B) 障害者ケアシステム ☆実態調査の実施 対象者の拡大 ☆ケース台帳の作成 ☆モデル地域の選定 ☆広報・啓発活動の強化 ☆エリアの拡大 ☆地区懇談会の開催 ☆要望活動 ☆ケアセンターの設置 ☆コーディネーターの配置 ☆サービス調整会議員の委嘱 ☆サービス調整会議 ☆ケアチームの編成 ☆ニーズ把握方法の見直し ☆他機関・団体との連携強化

1年次	2年次	3年次	4年次	5年次	新 継	P 21	財源内訳
○ 独居・寝たきり	○ 在宅重度身障者	○ 高齢夫婦世帯			継充	◎	地域ケアシステム 委託金
○ 作成・整理	○ OA化				継充		
○	○ A地区	○ ○	○ B地区	○ ○ C地区	新規		
○					継充		
○ 地域福祉センター 設立準備委員会設置		(具体化するまで)			新規	◎	
○ 社協事務局内 配置	○ 地域福祉センター を行政に要望				継充		
○ 月1回					新規		
○					継充		
○ 見直し作成	○ 運用				継充		
○ 在宅訪問活動担 当者連絡会	○ 以降定例化				新規		
							地域ケアシステム 委託金

基本計画（達成目標）	実施項目	実施内容
私 た ち で つ く る や さ し い ま ち	① 相談窓口の確立	心配ごと相談
		☆開設方法 利用者が相談しやすいように 電話相談・夜間相談を実施
		☆PRの強化 住民へ十分周知する
		☆相談員の資質向上のため研修 を実施
	② 供給主体の連携	行政との連携強化
		☆民生部・社協管理職会議  ☆民生部・社協担当者会議
		他機関との連携強化
	③ 事業型社協への転換	ホームヘルパー事業の受託
		☆受託計画要望書の作成
		デイサービス事業の受託
		☆事業受託研究会の開催  ☆受託計画要望書の作成
	有償福祉サービス事業の展開	☆提供者・利用者の意識調査  ☆有償福祉サービス準備会

1年次	2年次	3年次	4年次	5年次	新 継	P 21	財源内訳
○ 月1回夜間相談の実施	○ 電話相談の実施 (相談日以外でも社協 職員が相談を受ける)	○ 総合相談			継続	◎	県社協 補助金  自主財源 1/4
○ 広報紙・チラシに掲載	○ 地域懇談会での説明				継充		町助成金 3/4
○					継充		
		○ 他機関相談員との 連絡調整			新規		
○ 月1回					新規		自主財源 1/4
○ 最低月1回					新規		町助成金 3/4
○ 以降定例化					新規		自主財源 1/4 助成金 3/4
○提出					新規	◎	
			○		新規	◎	
				○提出	新規		
○						◎	
○ 設置	○ 視察研修	○ 実施			新規		



基本計画（達成目標）		実施項目	実施内容
私 た ち で つ く る や さ し い ま ち	II. 福祉の課題をともに学び合 い、地域での状況を確認、 話し合っって必要なサービスが 利用できるよう、行動に移そ う。	③ 事業型社協への転換 移送サービス事業の展開	☆調査  ☆ボランティア募集  ☆啓発  ☆高齢者及び身体障害者に対す る移送サービス
		移動入浴サービス事業の調査	☆研究・調査
		介護用福祉機器の貸し出し事 業の充実	☆アイテム増の検討  ☆啓発  ☆既存機器のメンテナンス  ☆常設展示の検討
		紙オムツ支給事業の充実	☆事業継続
		④ 在宅福祉サービスの評価と点 検を行う組織の育成	☆評価検討委員会の設置

1年次	2年次	3年次	4年次	5年次	新 規	P 21	財源内訳
○					新規	○	自主財源 1/4
○					新規		町助成金 3/4
○					新規		
○					継続		
○					新規		
○					継続	◎	自主財源 1/4
○					継続		町助成金 3/4
○	○ リフター購入	○			継続 新規 新規		
○			○ 浴用機器の購入		継続		
○				○ 制度見直し	継続 新規		自主財源 1/4 町助成金 3/4
○					新規		自主財源 1/4 町助成金 3/4



《分野別福祉活動の充実強化》

基本計画（達成目標）		実施項目	実施内容
私 た ち で つ く る や さ し い ま ち	Ⅲ. 地域でのふれあい、交流活動を進め、困った人を気軽に助け合える地域を作ろう	① 高齢者福祉活動	敬老会事業 ☆主催者変更 ☆敬老会検討委員会設置 ☆神栖町実施
			要援護高齢者世帯訪問事業 ☆継続実施
			簡易火災警報機設置事業 ☆継続実施 ☆緊急通報システムとの統合化検討
			一人暮らし高齢者宅配型給食サービス事業 ☆調理協力施設開拓 ☆事業の拡大 ☆調理協力員の開拓 ☆配達協力員の開拓
			一人暮らし高齢者会食型給食サービス事業 ☆実施継続 ☆給食ボランティア連絡会設置
			一人暮らし高齢者遠足事業 ☆実施継続
			老人クラブ連合会の育成 ☆助成金の見直し

1年次	2年次	3年次	4年次	5年次	新 継	P 21	財源内訳
○ 神栖町へ ○	○				新規 新規 新規		町敬老会 委託金
○					継続		自主財源 1/4 町助成金 3/4
○ ○					継続 新規		町委託金
○ ○ 週2回	○ 週3回	○ 週4回	○ 週5回		継続 継充 新規 継充	○	自主財源 1/4 町助成金 3/4 利用者 負担金
○ 年4回 ○					継続 継続	◎	自主財源 1/4 町助成金 3/4
○ 年2回					継続		自主財源 1/4 町助成金 3/4
○ 45万	○ 36万	○ 27万	○ 18万	○ 9万	新規		自主財源 1/4

《分野別福祉活動の充実強化》

基本計画（達成目標）	実施項目	実施内容
私 た ち で つ く る や さ し い ま ち	① 高齢者福祉活動	老人クラブ連合会の育成 ☆事務指導 ☆理事の分担制導入 ☆事務局長及び事務局員の選任 ☆自主運営
		施設入所高齢者クリスマス補助事業 ☆各施設長への説明会の開催 ☆事業廃止
	② 障害児者福祉活動	ことばと発達の相談室 ☆利用者親の会の組織化 ☆教材費の見直し ☆独立した相談室の確保 ☆幼稚園・小学校等担当者との連携強化
		在宅障害者通所作業所委託事業 ☆外注事業の開拓 ☆指導員の研修制度の体系化 ☆施設ボランティアの育成 ☆作業所広報紙の充実

1年次	2年次	3年次	4年次	5年次	新 継	P 21	財源内訳
	○				継続 新規 新規		町助成金 3/4
○		○					自主財源 1/4 町助成金 3/4
○	○				新規 新規		自主財源 1/4 町助成金 3/4
見直し・値上げ ○ 要望 ○ 定例会年2回			見直し		新規 新規 継続		利用者 負担金
○ Tシャツ・印刷 新規事業取り組み		(定期的な作業検討により外注業者の開拓)			継続	◎	町委託金
○ 施設内研修年1回 施設外研修年1回					継続		
○ 広報強化・交流会開催 年6回					継続		
○ 毎月発行					継続		

《分野別福祉活動の充実強化》

基本計画（達成目標）	実施項目	実施内容
私 た ち で つ く る や さ し い ま ち	② 障害者福祉活動	在宅障害児者活動援助 ☆在宅障害児へのクリスマス補助 ☆障害児夏季合宿補助
		グループホーム研究会の設置 ☆研究会の設置推進
		身体障害者福祉協議会の育成 ☆助成金の検討 ☆青年部活動の強化
	③ 児童生徒・母子父子福祉活動	児童福祉活動 ☆夏の子供自然教室 開催地域のVとの交流 ☆交通遺児へのお年玉支給事業 ☆施設入所児へのお年玉支給事業 ☆児童生徒の健全育成標語募集事業 ☆ボランティア協力校活動（ボランティアキャラバンの推進）

1年次	2年次	3年次	4年次	5年次	新 継	P 21	財源内訳
○ 廃止					廃止		自主財源 1/4
○					継続		町助成金 3/4
○ 近隣町村への呼び掛け	○ 調査	○ 研究会の定例化 年2回 視察研修	○ 実施検討 課題整理	○ バックアップ施設 の住宅問題検討	新規		自主財源 1/4 町助成金 3/4
○ 162,000	○ 130,000	○ 98,000	○ 66,000	○ 34,000	新規		自主財源 1/4
○ 専業・専務部会援助指導			○ 自主運営		新規		町助成金 3/4
○			○ 3泊4日に期間延長		継充		自主財源 1/4
○ 呼び掛け実施	○ 以降継続				継充		町助成金 3/4
○ 廃止↓事業転換					継続		
○ ふれ愛便					新規		
○ 募集内容検討 (社協らしいテーマ)					継続		
○				○ VC全校実施	継充	◎	県社協 補助金

《分野別福祉活動の充実強化》

基本計画（達成目標）	実施項目	実施内容
私 た ち で つ く る や さ し い ま ち	③ 児童生徒・母子父子福祉活動	児童生徒福祉活動 ☆ボランティアキャラバン推進委員会の設置 ☆学校募金の推進
		母子父子福祉活動 ☆母子福祉会の育成・助成金の検討 ☆母子家庭実態調査の実施 ☆小中学校入学祝品の支給、保育所入所祝い金支給事業
	④ 生活福祉活動	生活福祉資金貸付の促進 ☆PR・広報活動の強化 ☆民生委員への研修会の実施 ☆ニーズ調査の実施
		生活福祉資金貸付金償還率の向上 ☆生活援助活動の強化

1年次	2年次	3年次	4年次	5年次	新 継	P 21	財源内訳
○ ○					新規 新規		自主財源 1/4 町助成金 3/4
○ 70,000 ○ 廃止↓事業転換 ○ 母子緊急対策費 予算枠増設	○ 56,000	○ 42,000	○ 28,000	○ 14,000	新規 継充 新規		自主財源 1/4 町助成金 3/4
○ 社協・民協でPRの方法等について検討 チラシによるPR 広報紙によるPR	○ 関係機関・団体に対し 制度の情報提供促進 地域での広報の方法を 検討	○ 民生委員用貸付の手引 作成			継続		自主財源 1/4 町助成金 3/4
○ 民協定例会での研修 生活福祉資金調査委員 会の研修					継続		
○ 資金利用実態の把握 ニーズ調査の実施	○ 地域特性の把握 制度見直し提言	○ 関係機関団体との 連携強化			継続		
○ 実態把握の為の調査 援助方針の決定	○ 潜納世帯への援助活 動強化 償還指導後の悪質な ケース研究実施				継続		自主財源 1/4 町助成金 3/4

基本計画（達成目標）	実施項目	実施内容
私 た ち で つ く る や さ し い ま ち	④生活福祉活動	生活福祉資金貸付金償還率の向上 ☆援助記録の整備  ☆長期滞納者対策
		小口貸付資金貸付事業 ☆制度の見直し ☆滞納者の実態調査 ☆償還指導会の開催
		低額診療制度 ☆対象病院との連絡会定例化  ☆台帳の作成

1年次	2年次	3年次	4年次	5年次	新 継	P 21	財源内訳
○ 対象者の援助記録の整備	○ 引継ぎの徹底	○ ケース研究会での援助記録の活用			継続		
○ ハガキ・電話等による督促 定例民協での説明 償還実績の分析評価	○ 保証人への指導強化 家庭訪問の実施 転居・行方不明等の追跡調査	○ 支払猶予・免除の活用 悪質滞納者に対する法的措置の検討 不良債権の整備			継続		
○					新規		自主財源 1/4
○					継続		町助成金 3/4
○					新規		
(年2回) ○					新規		自主財源 1/4
○					新規		町助成金 3/4

《町及び地域諸団体と社会協議会との連携の強化》

実施計画 IV-①, ②

基本計画（達成目標）		実施項目	実施内容
私 た ち で つ く る や さ し い ま ち	IV. 誰もが住みよいまちづくりを 目指して、行政との協力協働 を進め要請や問題提起を行お う	① 行政と社協	
		行政 I・2 I・4 I・4 II・6 II・7 II・7 II・8 III・9 III・9 III・10	<ul style="list-style-type: none"> <li>☆ヘルパー事業受託要望</li> <li>☆地域福祉活動センター設立要望</li> <li>☆地域ケアシステム事業</li> <li>☆民生部・社協管理職会議</li> <li>☆民生部・社協担当者会議</li> <li>☆ヘルパー事業受託要望</li> <li>☆デイサービス事業受託要望</li> <li>☆評価検討委員会設置</li> <li>☆敬老会</li> <li>☆簡易火災警報機設置事業</li> <li>☆独立した相談室の要望</li> </ul>
		② 福祉団体と社協	
		III・9 III・10 III・11	<ul style="list-style-type: none"> <li>☆老人クラブ連合会の育成</li> <li>☆身体障害者福祉協議会の育成</li> <li>☆母子福祉会の育成</li> </ul>

1年次	2年次	3年次	4年次	5年次	新 継	P 21	財源内訳



《町及び地域諸団体と社会協議会との連携の強化》

基本計画（達成目標）	実施項目	実施内容
私 た ち で つ く る や さ し い ま ち	IV. 誰もが住みよいまちづくりを 目指して、行政との協力協働 を進め要請や問題提起を行おう	③ 諸機関と社協 I・2 I・3 I・3 I・3 I・3 I・4 II・5 II・6 III・9 III・9 III・10 III・10 III・11 III・11
	③ 地域 の 諸 機 関 ・ 団 体 と 社 協 と の 連 携 強 化 活 動	☆関係団体との連絡会の実施 ☆当事者団体・機関との懇談会 ☆企業・労働組合の活動促進 ☆高校生V連絡会 ☆OBボランティアの組織化 ☆他機関・団体との連携強化 ☆各相談窓口との連携強化 ☆在宅訪問活動担当者連絡会議 ☆調理協力施設の開拓 ☆クリスマス補助事業 ☆幼稚園・小学校等担当者との連携 ☆外注業者の開拓 ☆開催地域Vとの交流 ☆V協力校事業

1年次	2年次	3年次	4年次	5年次	新 継	P 21	財源内訳
						◎	

基本計画（達成目標）	実施項目	実施内容
私 た ち で つ く る や さ し い ま ち	① 事務局体制の整備	業務の点検整理 ☆既存業務にマンネリ化はないか効率的に実施されているか点検 ☆業務量が現行体制で適切か検討
		事務局会議の定例化 ☆事務局会議を定例化し業務の効率化及び職員の意志の疎通を図る
		職員の専門性を高め意欲ある職員を育てる（職員の資質向上） ☆社会福祉士や介護福祉士の資格取得への支援 ☆職員研修の体系化 ☆施設や県社協との人事交流 ☆専任事務局長の検討 ☆会長民間化の検討
		諸規程の整備見直しを図る（諸規程の整備） ☆経理規程の整備 ☆給与規程の見直し ☆その他諸規程の見直し

1年次	2年次	3年次	4年次	5年次	新継	P21	財源内訳
○ 社協のすべての業務の点検と見直し	○ 改善方策の検討・実施	○ 改善方策の見直し	以降繰返し点検・見直しの実施		継充		自主財源 1/4 町助成金 3/4
○ 業務量調査の分析検討	○ 必要があれば、役員行政に働きかけ				継充		
○ 職員会議の定例化	以降継続				継充		自主財源 1/4 町助成金 3/4
○ 希望者には業務上の配慮及び研修費の助成					継充		自主財源 1/4 町助成金 3/4
○ 各自課題を持ち年1回自主企画の研修を実施年1回定例研修	以降継続				新規		
○ 関係機関と検討協議施設に研修派遣	○ 問題点・課題の整理	以降継続			新規		
○ 検討					新規	◎	
○ 標準経理規程準則の検討	○ 経理規程整備				新規		自主財源 1/4
○ 社協独自の職階級・補職管理職手当・特別手当経験年数換算等の見直し	○ 給与規程見直し整備				新規		町助成金 3/4
○ その他諸規程の見直し	○ その他諸規程の見直し整備				新規		

《社協の基盤整備》

基本計画（達成目標）	実施項目	実施内容
私 た ち で つ く る や さ し い ま ち	② 理事・評議員体制の整備	社協についての理解促進 ☆役員研修の定例実施  ☆事項別担当制を設ける  ☆事務局との定例懇談会の実施  ☆定例理事会の開催及び充実
		住民の代弁者としての動ける役員体制の確立 ☆役員専任の見直し
	③ 委員会活動の充実	各種委員会活動の充実 ☆広報委員会 ☆調査委員会 ☆福祉活動基金管理運営委員会 ☆生活福祉資金調査委員会 ☆総合企画委員会 ☆心配ごと相談所運営委員会 ☆V活動センター運営委員会 ☆地域福祉活動計画評価検討委員会

実施計画 V-②、③

1年次	2年次	3年次	4年次	5年次	新 継 P 21	財源内訳
○ 研修体系の検討 (既存の研修を実施しながら)	○ 研修実施				継充	自主財源 1/4 町助成金 3/4
○ 事項別の検討	○ 担当制の実施				新規 ◎	
○ 事務局が抱える諸問題、当面する課題等について話し合う場を設ける					新規	
○ 2月に1度					継充 ◎	
○ 見直し	○ 実施				新規	
○ 研修会実施 年24回開催					継続	自主財源 1/4 町助成金 3/4
○ 研修会実施 年4回					継続	
○ 年2回					継続	
○ 年2回					継続	
○ 研修会実施 年4回					継続	
○ 年2回					継続	
○ 年4回					継続	
○ 研修会実施 設置					新規	

《社協の基盤整備》

実施計画 V-④, ⑤

基本計画（達成目標）	実施項目	実施内容
私 た ち で つ く る や さ し い ま ち	④ 基本 活動 の 充実	広報・啓発活動の充実促進  ☆広報紙たんぽぽの充実 （発行回数） （広報委員）  （紙面の充実）  ☆社協ニュースの全戸配布  ☆住民座談会の実施  ☆町民福祉大会の実施  ☆住民モニター制度の導入検討  ☆公的福祉サービスの積極的受託  ☆ふれ愛フェスティバル ☆ふれ愛ウォークラリー （行政・団体・他社協との連携）  （実行委員会の見直し）
		緊急災害時対策  ・常総地区社協災害対策連絡会（仮称）の設置  ・救援体制の整備
	⑤ 財源 の 確保	中長期の展望に立った財政計画を策定する  ☆中長期の財政計画の策定
		財政の効率的運用  ☆過去の収支の状況のチェック

1年次	2年次	3年次	4年次	5年次	新 継 P 21	財源内訳
年6回 ○ ○ 地域型広報委員の育成	○ 広報委員増員		○ ボランティアニュース 的紙面の確保		◎ 継続 新規	自主財源 1/4  町助成金 3/4
○ ブロック毎に年1回	○ 実施				継続 新規	
○ 準備委員会設置 検討	○ 第1回大会開催実行 委員会設置、企画立案 モデル地区設定	○ 実施	○ 以降2年に1回開催		新規 新規	自主財源 1/4  町助成金 3/4
○ 呼び掛け検討 見直し			○ ボランティア啓発事業の集大成イベント		継続 継続	
○ 呼び掛け、設置 (7月)					新規	自主財源 1/4  町助成金 3/4
○ 障害者、独居高齢者等 名簿整理 ボランティアの確保					新規	自主財源 1/4  町助成金 3/4
○ 財政計画策定委員会の 設置	○ 計画の策定 役員・行政への説明				新規	自主財源 1/4  町助成金 3/4
○ 自己点検（効率的運用 がなされているか等）					継続	町助成金 3/4

《社協の基盤整備》

実施計画 V-⑤

基本計画（達成目標）	実施項目	実施内容
私 た ち で つ く る や さ し い ま ち	⑤ 財源の確保 自主財源の確保	☆全戸会員制の実施
	福祉活動基金積立事業	☆福祉活動基金の充実  ☆チャリティーイベントの開催  ☆地域福祉基金（行政）の積極的活用  ☆福祉団体の事務費の見直し

1年次	2年次	3年次	4年次	5年次	新 継	P 21	財源内訳
○ 社協会員促進委員会 設置・検討・推進計画	○ 地域座談会の開催 広報紙によるPR				新規	◎	
○ 福祉活動基金設置規程 等の見直し 基金の造成	○ 基金の造成				新規		社協福祉 活動基金
○ 検討委員会の設置 企画立案	○ 実施 検討				新規		
○ 社協福祉活動基金と 行政の地域福祉基金 とのすり合わせ					新規		
○ 見直し・実施					新規		